学校給食だより　　2026年5月27日

TA☆BE☆YO☆!!

新十津川町
学校給食センター

未来へつながる食を考えよう

私たちが生きていくうえで欠かすことのできない「食べる」こと。毎日を元気に過ごすためには、何をどのように食べるかがとても重要です。また、これから安心して食料を得られるように、未来へつながる「食」について考えていくことも大切です。

6月は国が定める「食育月間」です。この機会に、日々の食べ方を見直し、できることから取り組んでみませんか。

自分の健康のためにできること

食の未来のためにできること

寄贈していただきました

ＪＡきたそらちから「うりゅう米　ななつぼし　５００Ｋｇ」を寄贈していただきました。6月に使用させていただきます。ありがとうございました。

6月は牛乳月間です！

6月1日は「牛乳の日」、そして6月は「牛乳月間」です。この機会に、牛乳や乳製品についての理解を深めてみましょう。

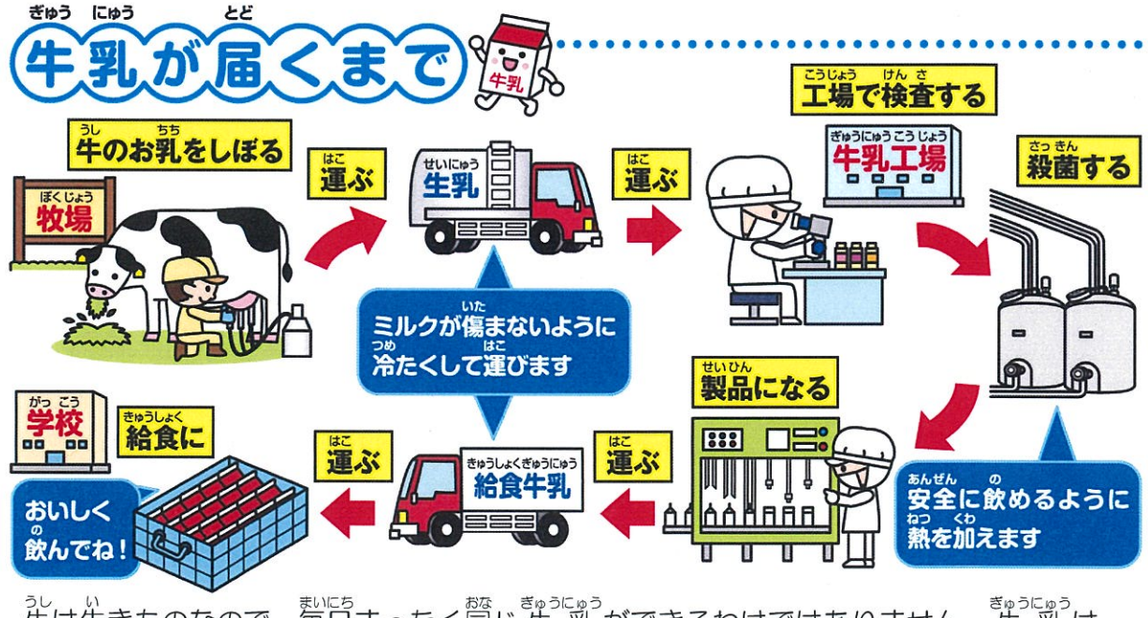
給食にはどうして牛乳が出るの？

それは、牛乳に多く含まれる「カルシウム」をしっかりとってほしいからです。カルシウムは、骨や歯をつくる材料になるだけでなく、筋肉を動かしたり、けがをしたときに血を止めたりする大事な働きをしています。また、骨にたくわえられるカルシウムの量は、小学生のころから急激に増え始め、20歳ごろまでにほぼ決まります。この大切な時期に毎日続けてカルシウムをとることで、丈夫な体が育ちます。だから給食では牛乳が出るのです。

今日の牛乳どんな味？

牛乳は同じ味に感じるかもしれませんが、日によって少し味が変わることがあります。それは、牛乳が工場で作られた「決まった飲み物」ではなく、野菜や果物などと同じように自然の中で育つ「農産物」だからです。牛が食べるエサや季節の違いによって牛乳の味も少しずつ変わります。

牛乳が届くまで



牛は生きものなので、毎日まったく同じ牛乳ができるわけではありません。牛乳は、牛が自然の中で育つことで生まれる「自然の恵み」なのです。